**現場の週報から（令和3年2月1日～2月28日）**

**【2月1日～2月7日】**

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・節分の豆まきを行いました。この時の為に、以前より皆さんと新聞紙を丸めて球を作っていました。職員が鬼に扮して登場すると、なぜでしょう・・・普段は体を動かしたくないと話される方も成敗してくれるとばかりに張り切って参加されていました。鬼に球が当たると面白そうに笑う方、まじめな顔で「鬼は外！福は内！」と参加される方、鬼が降参し「来年、また来ます」と退散しようとすると「またおいでね。みんな笑って、もう福は内だよ」と声を掛けてくださいました。また、皆さんと笑顔になれるイベントを行いたいと思います。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・いつもはあまり発語が少ない男性のHさん。先日向かいに座っていた男性のKさんと職員がオセロをしていると「そうだね」と、急に会話に混ざって勝負の様子を眺めておられました。今度オセロを一緒にしますか？と尋ねると「そうだね」と、ご返答がありお約束させて頂きました。妻氏へお聞きすると「昔はやってたんだよ～」とのこと。日をあらためてオセロのお手合わせをお願いいたしました。体の拘縮もあるためうまく盤でのやりとりはできない面もありましたが、ご自身でしばし考えたり、目を閉じてしまう時間もある中、オセロをきれいに置いておりました。うまくひっくり返したり、そうでなかったり、ルールも多少ずれていたりと・・。結局Hさんが勝ち、参りましたとお伝えすると「そうですか」と一言。いつもよりじっくりと時間を共有することができたのではと感じました。妻氏・嫁氏へ様子をご報告させて頂くと「あら～おじいさん良かったっちゃね」と喜ばれておりました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・２日は節分でした。この日の為に高橋さんが塩釜市場まで行き、生きのよいマグロを調達。豪華な恵方巻を作りました。みなさん、残さず美味しく召し上がりました。午後からは、ご利用者のみなさんと一緒にいちご大福作りをしました。昔から料理作りをしているだけあり、上手にいちごを入れて餡子をまるめていきます。デザートとして召し上がり喜ばれ、おやつの後は鬼退治をして楽しまれました。今年は１２４年ぶりの２月２日の節分。悠々にとっても特別な日になったと思います。５日は絵手紙作りをしております。みなさん思い思いの絵手紙を作って楽しまれておられました。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・2日に節分イベントを行いました。一人一人が恵方巻きを作りました。恵方巻きの中に入れる具材は、6種類の中からご利用者に選んでいただき行いました。午後からは豆まきです。各自が想いを込めながら鬼に豆をぶっけていました。季節に合わせたイベントを今後も行っていきます。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・２日に節分イベントを行いました。昼は恵方巻きを皆さんと一緒に作り、召し上がって頂きました。「買ってくるものより美味しい！」と好評でした。午後は前日まで作った、豆もどきを皆さんに持って頂き、赤鬼青鬼に扮したスタッフに、ぶつけ悪い鬼を退散させるといった予定でしたが、豆をおひねりのように鬼の懐に入れたり、鬼にパンチやキックをして撃退するなど、一風変わった節分となり、皆さんに楽しんで頂きました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・今週よりリフォームが始まり、入浴はデイホームで対応しています。みなさん慣れない環境ですが、デイホームのご利用者、スタッフとも交流を持ちながらの実施となっています。室内で過ごす時間が多く、談笑しながらの設え作成や手作業（編み物）などを行っています。テレビで桜の開花などの放送が流れると、「ことしはどこにお花見に行くの！」や「暖かくなったらお弁当を作って出かけたいね」などの話しに花が咲いております。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・2日今年は124年ぶりに2日に節分がありました。皆さんへも今年は2日が節分だってねと話しながら豆まきをしました。鬼役のスタッフへまめを投げて厄を払いました。

■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・2日に豆まきイベントを行いました。鬼に扮した職員に「鬼は外！福は内！」と豆に似せたボールを投げ、鬼が退散すると皆さんとても喜ばれておりました。入居者さんの中には「早くコロナもどうにかなるようになればいいね」と話される方もおりました。

■さくらの杜こども園：我妻亜紀さん

・３日に豆まき会を園で行いました。お母様型の要望で急遽、佐藤さんがとてもリアルな鬼になって登場してくれました。子ども達は大パニック状態になり、大泣きしていました。ケアホームとの合同の豆まき会が無かったので、子ども達にとっては恐ろしくもとても良い思い出になったのではないかと思います。何名かのお母さんが見に来て動画を取り、大変喜んでいました。以前作った鬼の豆入れと、鬼のお面をお土産にしました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・２日に節分イベントで恵方巻食べました。イベント担当職員は豆まきのに使用する豆を、ご利用者の皆さんにそれぞれに落花生なのか？大豆？なのか伺い、ご本人の好きな豆で豆まきをしました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・毎年恒例の恵方巻イベントがありました。「今年はどこの方角だっけ？」「まるまる一本なの？」と始まる前から皆さんの期待度が高く、作り始めてからも皆様集中して作られておりました。「うんと美味しくできたっちゃね～」と皆様ペロりと完食されました。季節を感じるイベントは今後も定期的に行っていきたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・2日午後の時間を使い節分の豆まきを行いました。鬼に扮した男性職員に対して、利用者さんからの豆（甘納豆）の洗礼がバンバン飛んできます。鬼の顔面・股間めがけて数々の洗礼が飛び、見事に命中し鬼は悶絶。その姿を見て利用者さんは大笑い。とても喜んで頂けた様子。普段、あまり笑わない利用者さんも笑っており、何とも楽しい時間をみなさんと一緒に過ごすことが出来ました。

■杜の家：星恵美子さん

・2日に節分を行いました。今年は124年ぶりに2/2になったことを利用者さんにまず説明しました。「へ～124年ぶり、は～立春が2/3？？立春は2/4だよ。」ですよねぇとやっぱり節分は馴染みのある2/3がしっくりしますが、お昼に手作りの恵方巻を食べ、午後には豆まきではなくコロナ退治で、大きく口を開いたコロナ鬼にボールを投げ入れて頂きました。利用者さんの力強い投げ方は圧巻でした。皆さんとストレス解消に良い運動が出来ました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・１階なつめユニットでは「おやつ大作戦」を実施中。看護の一枝さんが率先し計画しユニットに張り出し中。14：30～15：30まではスタッフも意識しながら関わりを楽しんでいる姿が見られます。「今日は〇〇しました～」等、スタッフ同士報告し楽しかったことを共有しています。２階あやめユニットでは、10時、15時のおやつは手作りを競い合い、皆さんが座られるテーブルの位置もキッチンの目の前に変更し、調理中も会話を楽しむことを心がけています。また、退院されてきたHさんの食事量が戻るよう、どんな形態だったら食べやすいのか。一喜一憂しながら話し合う機会も増えています。少しずつスタッフの意識が変わってきています。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・2日豆まき。鬼に扮したスタッフが出てきて、鬼は外、福は内と豆を投げました。お昼には、頼んでいた恵方巻を皆さんで召し上がられました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・2日の午前中に豆まきを行いました。鬼に扮した職員がお年寄りの前に登場すると、笑顔になる方、目を見開く方、様々な反応が見られました。職員もお年寄りも節分の雰囲気を味わっていました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・3、4日両日にわたり節分として恵方巻作りと豆まきを行いました。恵方巻では豪華な海鮮巻きが出来上がり、スーパーで売ったら￥1000以上取れるなと、あるお年寄りは話されていました。南南東を向いて皆さんそれぞれ願掛けしながら恵方巻にかぶりつきました。また、午後からは定義山から降りてきた赤鬼が登場し「疫病退散」として力強く皆様豆をぶつけており、今年の秋には、赤鬼さんのいる定義山にお参りにて再会できることを約束しました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・2日節分で恒例の豆まきをしました。鬼に扮した職員に対し、コロナ禍の鬱憤を晴らすように力強く豆をぶつけて鬼を倒しておりました。恵方巻も女性入居者が中心となって作って下さり、皆で美味しくいただきました。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・2日に2階ユニット、5日に1階ユニットで節分イベントを行いました。手作りの恵方巻を食べ、午後にはスタッフが鬼役となり、豆まきを行いました。皆さん、笑顔で豆まきをされていたのが印象的でした。豆まきのあと、歳の数…とはいきませんが、「懐かしいね～。たまにはいいね」と落花生を食べている方が2階ユニットには半数くらいおられました。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・2日に節分イベントで桃太郎の劇をしました。ご利用者の方にも配役をお願いしセリフを言ってもらう場面もあり観ていただくだけでなく一緒に参加してもらうような形で劇を行いました。

おじいさん、おばあさん、村人になって心のこもったセリフを言っていました。ご利用者からは「楽しかった。うまくいったかどうかわからないけど、役をつけてもらって参加できて良かった」という声が聞かれました。

**【2月8日～2月14日】**

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ゆかりの杜のバレンタインをキッズパートナーが盛り上げてくれました。イチゴやバナナ、お饅頭にドーナッツ様々な材料にチョコレートとトッピングをつけて皆さんと楽しみました。「○○さんは何が食べたいですか？」と伺い「僕はイチゴが良いよ」「イチゴとバナナとドーナッツ！」と注文が入るとキッズパートナーがせっせと作り皆さんへお届け。かわいらしい姿に「働き者だね。ありがとう」と目じりは下がりっぱなしです。チョコレートとキッズに癒された時間を過ごしました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・11日閖上のたこ焼き屋さんがいちいへやってきました。外出自粛が続いた中、思いがけない訪問者に、みなさん喜ばれ、焼きたてのたこやきに舌鼓をうち、みんなでお茶をすすりました。「また来てくださいね！」と手作りしたチョコレート（Ñさん・Kさん作）とお手紙（ｋさん筆）を添えてたこやき屋さんへお渡ししました。「ほんとにうれしいです。」と喜ばれていました。後で私へ届いたメールの中で「おばあちゃんたちのお気持ちが、すごくうれしかったです。」とありました。ほんとうに存在した閖上のたこやき屋さんは東日本大震災で流されてしまい、その味が消えないように受け継いだのが、ここにいらしたたこ焼き屋さんです。また機会を作りたいと思います。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・約半年ぶりにご利用を再開された男性のHさん。こちらに来ると「前に来たことあるような気がするんだよな」と、利用者さん・職員の顔や景色を覚えているようでした。ご自身の親戚にあたる職員がいた嬉しさも理由のひとつだったようです。体操をしていると「こうした方がいいんだよ」と、他人よりも積極的に取り組まれており、調理活動では大根のスライスも「オレ家でやってるから」と時間をかけて、それでも丁寧に切り方をして下さいました。午後になると「あと帰っからわ」と席を立たれ、1人でも杖をついて帰れること、妻氏への寂しさ(入院中)もあるのかそんな言葉を漏らしておりました。ご本人は足腰が弱くなるから散歩したいという意思をお持ちのため、一度散歩に同行させて頂きました。第一の人生との話しでゴルフ場の建設に大勢で関わっていたことなど、表情豊かに熱心にお話し下さいました。若い頃はピアニストを目指していたことも伺い、電子ピアノで周りで音楽をかけたり、アカペラで歌い、それを聞きながら鍵盤を見つめて故郷や童謡など、記憶と感覚を辿りながら思い出して弾いて下さいました。周りで聞かれているみなさんも思い思いに、口ずさんだり・耳を傾けたり・目を閉じてにこやかな表情を浮かべていたり・・。うまく弾けないこともありますが皆さんから拍手を頂くと照れくさそうに、でも嬉しそうでした。息子さんも「じいさん、良かったな」と、嬉しそうな印象を受けました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・12日バレンタインデーチョコ作り。麩をチョコレートに溶かして皆さんで作り、とても美味しく召し上がっており、喜んでおられました。今後も季節の行事を大切にしていきたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・お米を買わせていただいている、地域の方から、おひな様を飾ったので、時間がある時に見に来てとの声を掛けて頂きました。

・11日ご利用者2名がスタッフと伺い、写真を撮らせてもらいました。とても楽しまれていたそうです。

・ケアホームでも、玄関先にお内裏様とお雛様を飾りました。ご利用者さんと面会のご家族さんに見て頂いてます。



■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・清山会のレベルが下がり、家族さんへ面会再開の連絡を致しました。早速当日に来て下さる方、バレンタインデーのおやつを皆さんでとお土産にご持参下さる方など、にぎやかな日常が戻ってきたようです。しばらくぶりに家族さんの顔を見た入居者さんはもちろんですが、私達スタッフも嬉しい気持ちになりました。今回の面会再開の連絡も、突然の地震の無事の報告の際も、家族さんから「コロナ対策だけでも大変なのに、職員さんには本当に感謝しかありません」と労いの言葉や、「これ職員さんで食べて下さいね」と差し入れを頂いたりと、スタッフの頑張りが家族さんに評価して頂いているように思いました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・9日節分イベントをしました。豆まきとメインは太巻き作りです。大きく口を開けてお腹いっぱい食べました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・今週はIさんの誕生日でした。いつもであればケーキなどを手作りするのですが、キッチンのリフォーム中ということもありご本人の好きなものを購入することにしました。甘い物が食べたいと仰っていたので、こっそりシュークリームを買ってきてサプライズの誕生会を行いました。「まだ二日早いんだけどね」と笑いながらも喜ばれ、誰よりも早く平らげたIさんでした。レベルも「２」に下がり、日に日に暖かくなってきました、感染予防には細心の注意を行いながら外へ出たいなと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・12日におやつ作りをしました。バレンタインデーが近かったこともあり、チョコレートを使用したパフェを作りました。出来上がったパフェを食べて、「甘いのはうまいね。」、「冷たくていいね。」と楽しそうに会話をされておりました。外出系のイベントもコロナ対策をしながら行っていきたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・建国記念日の日に、ご利用者さんから「昔は紀元節と言ってたんだよ」と教わりました。紀元節って？？？取り敢えず祝日なんですねと、祝日でもいつものご利用者さんたちと職員はいつも通りに会話を楽しみました。

・夕方の時間に手に何かをもって見ている方がいらしたので、尋ねると「この間、職員さんに卒業写真の歌詞を印刷してもらったんだぁ。」その方は先日、荒井由実の卒業写真の歌が好きだと仰り、歌詞を印刷してほしいと話されました。その印刷した紙を大事そうに眺めていたのです。これは音楽を流さなければとしばらくコロナのせいで眠っていたカラオケをだして、曲を流そうとしました。配線にてこずる職員に、見かねてそのご利用者さんは「手間かけるからいいから」と気遣い、それを聞いていたもう一人の職員が配線の手伝いをしてくれて無事に曲を流すことが出来ました（\*^\_^\*）夕食の時間は卒業写真から始まり、ムーディーな曲にリクエストも入りいつもの夕食が素敵なディナーになりました。次に流す曲のリクエストをしっかり聞いてかけてくれる職員もいて、チーム力も感じました。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・定期的に図書館に行かれていた入居者さんとスタッフで久しぶりに図書館に出かけ、その帰りにホームの食材購入を一緒にしています。帰宅後の入居者さんの表情は満面の笑みでキラキラしており「よかったよ～」とお話していました。

・11日いちいの風の企画で閖上たこ焼きの移動販売車が敷地内に着ました。みなさんに来ることをお伝えし購入するかを聞いたところ、みなさん「食べたい」ということで、入居者さんとスタッフでお金を握りしめ移動販売車まで行き購入し、おやつに食べております。なかなか自分で行って買うという機会もなかったので、本当にみなさんいい表情をされておりました。

・14日誕生日を迎えられた入居者さんがおり、ご家族さんが誕生日プレゼントを持って来てくださいました。お昼時ということもあってご家族さん中に入ることは遠慮されましたが、玄関でお互いマスクをしっかりと付けながら直接プレゼントを手渡されておりました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週はバレンタインイベントにて、パフェ作りを行ないました。皆さん独創的なパフェをそれぞれ作られ、「お店みたいだよね～」と笑顔が多く見られました。13日深夜の地震では怪我をされた方もなく、皆さん無事で何よりでした。今月はちょうど地震を想定した避難訓練の予定でしたので、しっかりと実施していきたいと思います。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・8日に利用者さんがドライブへ行きたいとお話されていたため、少人数で近くの八坂神社までドライブしております。外の景色をみながら、「きれいな風景だね」「気持ちいいね」などとお話があり、楽しい時間を過ごすことができました。ご利用者のお話を聞き、意向に沿いながら今後も関わっていければと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・面会の制限が解除となり、さっそくご家族さんが面会に来てくださっています。また、行きつけの美容室に連れて行ってくださったり、面会や外出を楽しまれています。

・8日にUさんが約3ヶ月ぶりにGHに戻って来られました。スタッフが声をかけたところ、「戻ってきました」と言ってくれたことがとても嬉しかったです。病院での評価では嚥下は難しく、経口から栄養をとるのは難しいとのことでしたが、往診の先生に相談したり、みはるSTの相澤さんに協力をいただきながら、ご本人の好きなもの（りんごとうどん）を味わっていただこうと、まずはリンゴジュースにとろみをつけた物を口にしていただいています。病院では出来なかったけど、GHでできることをご本人、ご家族、スタッフと考えながらやっていきたいと思います。

・13日夜間の地震にはほとんどの利用者さんが驚かれ、目が覚めたようですが、特に被害もなく、無事に過ごせています。今後も余震に備えて対応しておきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・面会緩和になり、先週は月～土で毎日30～50名のご家族が来設しました。ご利用者にはなるべくマスク着用をお願いし10分程度での面会時間にも協力いただきながら久々の再会に喜ばれていました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・10日ご利用されている婦人部の皆様が、スタッフ高野先生ご指導のもとお雛様づくりを行いました。道の駅等で民芸品コーナーで販売されているのを見ますが、婦人部の方々が作製したお雛人形も遜色なく、いや勝る出来あがりでした。早速、家の玄関に飾ったよと報告うけています。



**【2月15日～2月21日】**

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・16日近所の方にお誘いを受け、お雛様を見に出掛けました。掘りごたつに着物が飾ってあり、日ごろ車椅子のＡさんも「行ってみっから」とスタッフが手伝いながら中まで歩きました。こたつを囲って眺めてきました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・ご家族のご面会が行えるようになり、６組のご家族のご面会がありました。ご家族と久しぶりにお会いし、ご入居者のみなさんから「コロナなのに来てもらえるようになったんだね～。ありがたいね～」とお言葉をいただいております。ご家族からも、「コロナ感染対策で大変な中、面会できる時間を設けていただいてありがとうございます。変わりなく元気に過ごせているようでしたので安心しました」とお言葉をいただきています。

今後も、ご本人とご家族が安心してご面会できるよう取り組んでいきたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・昨年、企画しても行くことが出来なかった外食、20日に実現できました。今回はピザがお好きな皆さんで、太陽の村のらぽるの森へ行きました。久しぶりの外食に、美味しいとの声と笑顔が見れたことは、私達スタッフにも最高の時間をいただきました。

・Ｈさんのお孫さんの結婚式が、20日に仙台であるとのことでお話しがありました。娘さんより、出席は難しいから、Zoomで見せて欲しいとのことで、事前に練習をし行うことに。当日、娘さんと一度つなげてから、本番の時間に。Ｈさんは、初めてのZoomに、どんな反応なのかとお観ましたが、お孫さんの姿に感動し、涙ぐみながら画面を見られていました。その後、披露宴も少しだけ見ることが出来、お孫さんと手を振りあいながら、また感動されていました。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・19日にTさんの100歳のお誕生会を行いました。当日は、饅頭が好きなＴさんの為に、バースデーケーキのように特大饅頭を紅白二段重ね、ロウソクを拭き消して頂きました。Ｔさんがいずみの杜デイケアで仲がよかったＫさんとZOOMでつなぎ、一緒にお祝いして頂きました。Ｋさんから、手作りのベストと帽子をプレゼントして頂きました。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・ご自身の想いとして散歩とピアノを弾くことを考えている男性のHさん。午後になりご自宅へ帰りたくなり散歩でもとお誘いしましたが、帰る方がいいと散歩は後ろ向きでした。電子ピアノの演奏を提案すると「ピアノならいいよ」との言葉がありました。女性スタッフが楽譜を持って童謡をつまずきながら演奏し、ご本人も思い出しながら一緒になって弾いて下さり指導や助言も頂きました。二人の会話はできないもどかしさや途中まで弾くことができた達成感などの感情が入り交じり、緊張さの中にも笑いと温かな心地いい空間が流れているようでした。お陰様で少しずつ弾けるようになり点数をお願いすると「まだだね。何回も弾いて毎日練習しないと覚えないよ」と、優しさの中にも𠮟咤激励をされておりました。ご自身で弾いて周りの皆さんに拍手で喜ばれる表情よりも、一緒に教えながら育てていくような今回の表情の方が、生き生きとした目の輝きと活気、声も高く出ていたような印象を受け、ご本人にとってはもちろん周りのみなさんも居心地の良い時間を過ごすことができたように思います。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・職員の後藤輝和さんが異動されてから１か月を過ぎました。最近では「俺、ドーナツつくれるんですよ、15時のおやつは俺ドーナツつくります」と手際よく入居者さんと一緒に手作りを楽しまれていました。その日は２階でアップルパイ、ロールケーキ、１階ではドーナツと事業所全体に甘い香りが漂っていました。お互いのユニットの出来栄えを差し入れしあい、入居者さん、職員ともにこにこ笑顔が輝いていました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・今週はご利用者さんの誕生会や、久しぶりにドライブへ出かけたりしました。まだまだ冷たい風を感じますが、みなさん外出した喜びに満ち溢れた表情をされていました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は「お好み焼イベント」を行ないました。おやつ作りイベントだったのですが、皆さん朝から楽しみにされ、「今日はお好み焼きでしょ？焼きそばは？」との質問が多かったです。残念ながら焼きそばは作らなかったのですが、皆様たくさん召し上がられました。16日は地震を想定とした避難訓練を実施致しました。13日の地震の後とあって、参加された皆さんの意識も高く、有意義な訓練となりました。今後もコロナ感染予防をしっかりと行ないながら、日々の暮らしを守って行きたいと思います。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・地域の美容室を開所当初から利用し続けている方を行きつけの美容室へ早速お連れしました。「お化けみたいになってたから早く行きたかった」「いくつになってもみっともないのは嫌なのよ」と美容室へと向かう車中でも、嬉しさが隠し切れない様子でした。髪を切ることはどこの美容室でも行えます。訪問して下さる美容師さんもいらっしゃいます。でもその方が髪を切って欲しい、髪を整えに行きたいと思うのは通い慣れた美容室、顔馴染みの美容師さんなんです。車に乗り込む前に、二重にマスクを付け、「これなら大丈夫よね？」と私に確認されたＭ・Ｙさん。予断を許さない状況に変わりはないですが、その中でもご利用者の願いを形にしていきたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・ご利用者さんと職員の午後のまったりとした時間の何気ない会話でもらい泣きをしました。内容は、現在97歳のご利用者の若いころの苦労話。嫁いだ先が、大百姓で日の出とともに農作業をし、子供や舅や姑、小姑さん達の食事の支度、掃除やお風呂焚き等々・・・。自分は休む暇もなく、食事も満足に食べる時間もなく、それでも乳飲み子だけでもとミルクをやると怒られ、泣きながら水を飲ませたというお話。唯一、子供が自分に懐いてくれたのが救いだったと、ご本人も涙ぐみながら、現在妊娠中の職員にお話されてました。そして最後に職員に、「頑張って産むんだよ」と優しい言葉をかけて下さいました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・久しぶりに美容室へ行かれる方、床屋さんに来て頂き散髪される方、皆さんすてきになられ、笑顔も引き立ちました。ホールでは春をイメージした装飾をあーでもない、こーでもないと、ご利用者と職員で制作し、飾ってみました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・13日の地震での耐震補強をＨさんに依頼すると快く行ってくださいました。デイだけではなく、居宅や老健入所まで行って下さっています。日頃の感謝をこめ、Ｈさん、Ｋさんに少しですが昼食を出前しています。Ｋさんは味噌ラーメンを注文し、「久しぶりだ！」と大変喜ばれておりました。元々北海道生まれのＫさん、「味噌ラーメンは札幌が発祥なんだよ」と教えて頂きました。Ｈさんはかつ丼。「腹いっぱいだ～」と食後笑顔で話されておりました。

・21日に寿司イベントを開催しています。厨房の方々にご協力いただき、10種類の寿司をご準備して頂きました。皆さん大好きなものを召しあがり大満足の表情をされておりました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・17日、大地草原ユニットでは『喫茶店』イベントを開催しました。写真入りのメニュー表を作成し４種のスウィーツから２品、３種の飲み物から１品を選んでもらいました。フルーツポンチ、抹茶プリン、一口どら焼きはご利用者と手作りし飲み物はノンカロリーに。コーヒーはコーヒーミルでＯさん、Ｉさんに挽いてもらいました。ユニット全体がコーヒーのいい香りに包まれ、ほっとする時間を過ごしました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・17日にわっかフェのスペースを借りてカレー作り（サラダ・お浸しも）を行いました。それぞれにこだわりがあり、トマト缶を入れたり、隠し味となる調味料を自宅から持参したりと、とても楽しい時間となりました。途中でルーが足りないことことに気づき、近くのイオンまで走って買いに行くことになりましたが、そんなハプニングも楽しめたようです。

・18日にはサイゼリアに外食イベントを行いました。デイケアに通って初めて外食企画に参加された方は少し興奮した様子で「毎日でも良いわ」と職員に話してくれました。

・19日に手芸教室を実施しております。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・育休中のスタッフがお子さんを連れて来てくれました。小さな赤ちゃんに触れて喜ばれたり、小学生のお子さんとお話して、楽しそうに過ごされていました。スタッフの復帰を待ちわびているＹさんは久しぶりに顔を見て安心されていました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・面会が出来るようになり、少しずつ面会の機会が出てきています。本日も２件面会がありました。久しぶりに近くで過ごす事が出来て、ご家族からも「お部屋で面会できたのは久しぶりだったね。元気そうでよかった」等との声も聞かれました。毎月お手紙と写真で様子をお伝えしてきましたが、やはり直接会うのはお互いに嬉しいし、安心する事を改めて実感できました。今後も継続的な声掛けをしていきたいと思います。

**【2月22日～2月28日】**

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・人生会議もあり、3名の方の面会がありました。マスク着用し換気を徹底し実施しています。その人生会議ですが、ご家族さんも知らないようなご本人の想いを聴くことができ、その想いにご家族が涙される場面もありました。できる限り、暗い雰囲気にならず、前向きな感じになるように心がけながら行っています。

・入居者さんのご姉妹で札幌在住の方がすい臓がんで余命が短くなっており、顔を見てもらいたいということで、ZOOMは使えないけれどラインならばということで、娘さんが来所され、テレビ電話をしております。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・2月末に誕生日を迎える男性のHさん。甘い物が好きなので甘納豆・生クリーム入りのどら焼きを作って皆さんでお祝いいたしました。作成中は眠気があり閉眼しておりましたが、出来上がりご本人にお渡しするとすぐにかぶりつくようにあっという間に召し上がってしまいました。美味しかったか伺うと口の周りにクリームを残しながらも、味がいまいちだったのか首を横にふります。帰り際に元気な最高齢の96歳のKさんに「おめでとうございます。誕生日」と改めて声をかけられると、とたんに表情が笑顔に変わり「どうもありがとうございます」と、恐縮されたご様子でお礼を述べておりました。7歳年長者の方よりの発言はHさんにとって重みと、何か意味のある言葉だったのだろうと感じさせて頂き、その場の雰囲気が和やかな中の帰宅となりました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・久しぶりに塩釜方面や県民の森へ外出し散策を楽しみました。寒風の残る中でしたが、みなさん久しぶりの外出にとても喜ばれていました。口々に桜の開花が待ち遠しいと話しております。また、26日に見学の方が来られ楽しいひと時を過ごしました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・スタッフが自宅からお雛様を持参してくれ、ホールに飾りました。目の前にソファーを置くと自然と皆さん前に座り、お雛様の歌を口ずさんで眺めていました。



■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・３階ユニットでは20日、２４日～２６日の４日間に分散して外食イベントを実施しています。ちゃんとした外出は半年以上ぶりで、利用者さんだけでなく我々スタッフも朝から気分が高まっていました。何日も前から食べたい物を利用者さん皆で相談。iPadでお店のメニューを見ながらあーだこーだ話し合う時間もとても有意義なものでした。外出当日はたくさんの笑顔を見ることが出来、我々スタッフの活力にもなりました。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・2階ユニットで以前、スタッフが昼食に食べていたカップ麺を「いい匂いだね～」と言っていたことから、たまにはカップ麺も食べてみようかという話になりました。色々な種類のカップ麺を買ってきて、選んでいただきました。ラーメンを選ぶ方、うどんを選んだ方、「あんたはどれにすんの？」と楽しまれていました。カップ麺が苦手な方もいるかも？と思い、ミニおにぎりも一緒にお出ししましたが、全員がカップ麺を完食。（ほとんどの方がおにぎりも）「私、好きなのよ」という声や「たまに食べるのもいいね～」といった声が聞かれました。カップ麺の匂いをかぎつつ、Sさんにも介護食のうどんを食べていただきました。ご自分でお椀をグイッと口元にもっていき、召し上がろうとされていました。

・何組かのご家族さん、他事業所のスタッフが面会に来てくださいました。面会があると、普段よりも利用者さんの表情がよく、事業所内が明るく活気が出るように感じます。防止対策を行いながら、面会が継続できればと思います。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・26日の昼食に、ホットプレートにてお好み焼きを作りみなさんで召し上がっています。焼いてる内から「おいしそうだね～」「きっとおいしいだろうね～」と会話も弾み、ご面会を終えられたご家族の方からも「こういう風にみなさんで焼いて作ったお好み焼きは美味しいでしょうね～。自宅にいたころ、おふくろもよく焼いて食べさせてくれてました。懐かしいな～」と笑顔でお話しされておりました。今後もみなさんで一緒に楽しみながら食事ができるよう取り組んでいきたいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・25日に午後からおやつ作りを行いました。クレープを作り皆さんと一緒に食べております。３月はひな祭り、おにぎりパーティーのイベントを企画しており、ご利用者の声を聴きながらイベントを職員と一緒に行っていきたいと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・２月から新しい職員が２名入職されています。関口さんをはじめとし、はぐくみファイルを見ながらどんなことを感じられているのか、不安に思う事、疑問に思う事などに答えてくださり、他のスタッフも日々の業務内容を手順書を見ながら教えてくれています。また清山会の理念も改めて見つめなおす良い機会となっております。どのような関わりを大切にしているのか、ご利用者への言葉使いに違和感を感じたらその場で助言する、言葉だけで伝えるというのは難しいですが関わりの中で伝えられるよう職員も努力している姿が見られます。内装工事も順調に進み、春と同時に新たな出発を迎えております。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・ひな祭りイベントに向けてお雛様の顔出しパネルをご利用者さんと作成しています。折り紙をちぎる担当、糊付け担当で着々と進んでいます。中には、ちょっとの隙間があると見た目が悪いからと、しっかり隙間も埋めて下さる方もいて、綺麗に仕上がっております。　また、ご利用者さんと職員で、今盛り上がってる話題があります。春の選抜高校野球で柴田高校の対戦相手が決まりました。ご利用者さんたちは、「みんなで応援しなくちゃね！柴田町の誇りだな！」と目を輝かせて仰っていました。職員の中にも柴田高校出身もいますし、震災から10年の年に町内からの高校球児の有志が見られるのを楽しみしています。送迎中も役場や橋梁などに横断幕があると「柴田高校すごいねえ～」と車内でも話題です（\*^\_^\*）

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・日頃出来ていなかった玄関の掃除を行ないました。利用者さんと一緒に行なえたので、あっという間にきれいになりました。さすが、ベテラン主婦です。今後も継続して一緒に行えたらと思います。暖かくなってきたので、散歩なども再開出来たらと思います。今後もコロナ感染予防をしっかりと行ないながら、日々の暮らしを守って行きたいと思います。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・つるし雛を観に、古川方面へドライブに出掛けました。久しぶりのお出かけに、皆さん喜ばれていました。

・人生会議を早速開催しました。これまで、ご本人の想いを聴く大切さをわかっていたけれども、うまくお聞きすることができないでいました。しかし、私たちが思うよりも、すでにご家族としっかり想いを共有されている方もおり、しっかりとご自身で希望を話されました。堅苦しくなく、でも、しっかりと思いをお聞きする時間を設けることができ、良かったと思います。3月もお一人お一人の思いに耳を傾けたいと思います。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・ご家族の面会が増えてきました。先週の土日には両ユニット合わせ８家族の面会がありました。ご家族との対話から生まれるご利用者の笑顔は、普段私達に見せて下さる表情よりも一段と柔らかい表情だと改めて感じています。また面会に来られたご家族の皆様からは「大変な状況ですけど、頑張って下さい」と励ましの言葉を頂いています。ここ数日圏内での新規陽性者が微増しつつあり、予断を許さない状況でありますが、ご家族との繋がりを保ち続けられるようにZoomの面会についての案内をその都度行って行きたいと思います。